

## **博報堂DYグループ i-ビジネスセンター「3Dインターネットラボ」 セカンドライフで『星ひとみのUFORTUNE』サービスを開始**

博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター(※1)「3Dインターネットラボ」は、セカンドライフに所有するSIM「WITH」にて、機能素解析(※2)アルゴリズムを用いた対話型エンジンを活用した本格的な星占いサービス『星ひとみのUFORTUNE』サービスを開始しました。

『星ひとみのUFORTUNE』は、タレントであり占い師の星ひとみさんが提供されている占星術『天星術』をベースにした、どなたでも24時間いつでもご利用いただける対話型の占いサービスです。C2cube社(本社:東京都渋谷区、社長:内田善久)が持つ機能素解析アルゴリズムを用いた対話型エンジン技術を利用し、占い師BOT(※3)が訪問したユーザーと対話しながらリアルタイムで占いを行うことができます。

占いの種類は、①現在の心理状態がわかる「心理占い」(無料) ②2008年の恋愛、仕事、健康がわかる『天星術占い』(100リンデンドル:1アメリカドル=約270リンデンドル)の二つがあり、訪れたユーザーに自由に楽しんでいただけます。

博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター「3Dインターネットラボ」は、3次元(3D)インターネット領域でのマーケティング・コミュニケーション手法の開発やビジネス開発を行なう専門チームです。3Dインターネット仮想社会(※4)を単に新しいメディアの一つとしてのみ捉えるのではなく、生活者との絆(エンゲージメント ※5)を創る回路としてとらえ、3Dインターネットの技術的研究、3Dインターネットコミュニケーションの実験・研究、コンサルテーションおよびソリューションサービスの提供などを積極的に展開しています。

『星ひとみのUFORTUNE』も上記コンセプトのもと、3Dインターネットコミュニケーションの実験的施策として位置づけており、生活者が3Dインターネット空間の中で、どのような思考、興味を持って行動しているのかを、調査研究することを目的のひとつとして実施するものです。

### ■『星ひとみのUFORTUNE』概要

- ・提供サービス 1対1の対話型占いサービス。機能素解析アルゴリズムを用いた対話型エンジンを使用。人的操作なしでの対応が可能なBOT技術を採用。
- ・占いの内容 ①現在の心理状態がわかる「心理占い」(無料)

②恋愛、仕事、健康がわかる『天星術占い』（100リンデンドル）  
 ※ 天星術占いをされた方には、その人の星に準じた石のついたブレスレットをプレゼント

- ・提供時間 24時間（メンテナンス等での休止する場合があります）
- ・天星術提供 星ひとみ（株式会社オスカープロモーション）
- ・技術協力 C2cube株式会社（機能素解析アルゴリズムを用いた対話型エンジン）
- ・施設開発 株式会社 マグスル/株式会社 カラーチップス
- ・URL <http://slurl.com/secondlife/WITH01/87/181/22>

## ■『星ひとみのUFORTUNE』サービスイメージ



不思議な物体や牛がいる、なにやらあやしい空間。  
 そこにあるミステリーサークルの上に立つと・・・



上空に浮かぶ巨大なUFOに吸い込まれていく。



UFO中に入ると、星先生が現われた！！



星先生とのしばしのおしゃべりの後に、  
 厳かに占い結果を聴く・・・

<ご参考>

「博報堂DYグループ i-ビジネスセンター 3Dインターネットラボ」活動概要

- ・3Dインターネットの技術的研究
- ・3Dインターネットコミュニケーションの実験・研究
- ・ツールや手法の開発
- ・コンサルテーションおよびソリューションサービスの提供
- ・セミナー、講演等の開催および発表
- ・企業またはコミュニティからのコンテンツコラボレーションの企画検討と実施
- ・セカンドライフSIM「WITH」の一般ユーザーなどへの開放

(※1)「博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター」とは、博報堂DYグループの事業会社4社(博報堂DYメディアパートナーズ、博報堂、大広、読売広告社)が2006年2月に共同で設置した、デジタルメディア環境における次世代コミュニケーション開発をグループ横断で推進するための組織です。

(※2)機能素解析:

機能語に注目した言語解析処理技術。機能語とは、文を構成する単語の機能を定める「て・に・を・は」や「た・でした・ちゃった」といった言葉です。これら約4,000語の機能語を用いて文節単位の分解を行い、「主題・副題・動作状態」の3要素に再構築して構文解析を行うものです。これは、日本語を使う人の日常生活において無意識に行っている言語認識手法をアルゴリズム化したもので、従来の解析手法と比較して自由会話文の解析に強い解析手法です。

(※3)BOT:インターネット上で、自動にタスクを実行するアプリケーションソフトウェアです。

(※4)3次元(3D)仮想世界サービス:

コンピュータ上で作られた、現実世界を模倣した3次元空間。あらかじめシナリオが決まっている多人数同時参加型のオンラインゲーム(MMORPG)とは異なり、仮想世界自体を楽しんだり、ユーザー同士でコミュニケーションをとるなど、ユーザーが自由に遊ぶことができます。最近では、米国Linden Lab社が提供するSecond Lifeが、ユーザー自身が建物や道具など様々な物体(オブジェクト)を創造できるようなツールを提供したり、3次元空間上の土地やオブジェクトを売買できるような経済システムを提供しており、現実世界に近い空間を作り出しています。

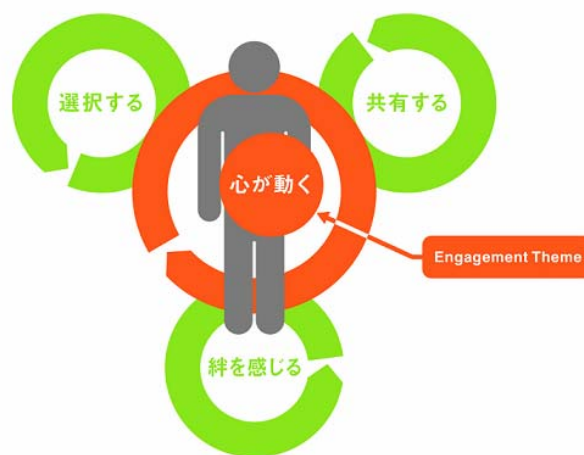
(※5)「エンゲージメント・リング™」について

デジタル化の進展によるメディア環境の変化によって、生活者が主体的に情報を収集、選別、発信し、自らの情報体験のイニシアティブを握っていく「生活者主導社会™」が到来しつつあります。

こうした環境の中、博報堂 DY グループは「生活者主導社会™」に対応すべく、「生活者発想」を更に深化させ、新たなマーケティング・コミュニケーションモデル「エンゲージメント・リング™」を開発いたしました。

このモデルでは、生活者の多様化した情報体験を「心が動く」「選択する」「共有する」「絆を感じる」という4つで捉えています。

「エンゲージメント・リング™」をベースとして、生活者の心を動かすための「テーマ」開発と、情報体験の「全体設計図」作りをトータルに行なうことで、企業が生活者とともにブランドを作っていく、すなわちエンゲージメントの実現（ブランドと生活者の絆を結ぶこと）が可能となります。



以上

#### この件に関するお問い合わせ先

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	広報グループ	加藤、神子	03-6218-9175
株式会社博報堂	広報室	西尾・宮川	03-5446-6161
株式会社大広	総務人事局広報部	遠藤・長谷川	03-3437-8601
株式会社読売広告社	総務局コーポレート部	林	03-3556-6966